

取組の概要

取組の概要：更なる産地強化への体制整備
 計画作成主体：小林市農業再生協議会
 対象品目：輪ギク（産地面積：4.85ha）
 主な取組主体：JAこばやし花卉部会野尻支部
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 （10aあたり）
 助成金の活用状況：生産支援事業（施設園芸ハウス
 内部機材の導入）

ポイント

短日処理のための環境制御装置と、自動防除装置等を導入し、市場ニーズに即した品種導入を行い、反収及び秀品率の向上を図る。
 これらの総合的な取組により、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



宮崎県
 小林市
 野尻地区

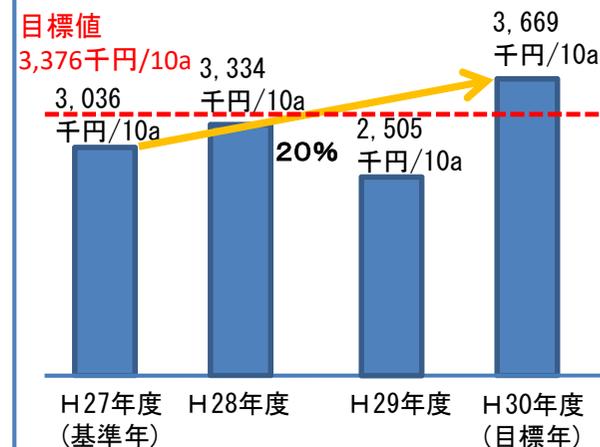
推進体制

地域の関係者（小林市、こばやし農業協同組合、農業関係者等）が一体となり、事業を推進

取組成果

○ 販売額の増加により、生産者の所得向上及び輪ギクの産地強化を実現

～輪ギクの販売額（産出額）～



産地の現状と目標

〈現状：H27年度〉

農家数：6
 作付面積：4.85ha（出荷数量：245万本）
 販売額：3,036,119円/10a

〈目標：H30年度〉

農家数：6
 作付面積：4.85ha（出荷数量：250万本）
 販売額：3,376,259円/10a



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 産地分析の実施
 産地の現状と問題点を整理し、産地ビジョン作成、改善策について生産者へ実施を促す。
- ①生産力の向上
 シェード及び自動開閉装置の導入により、適切な温度管理と、夏期における短日処理が可能になり、奇形花の発生が抑制される。また、自動防除装置の導入により、病害虫の適期防除が可能となり、これらに取り組みことで品質向上が図られる。
 - ②販売力の向上
 短日処理が可能となることで、市場ニーズの高い夏ギクへの転換を図る。
 - ③人材の育成
 関係機関が連携し、新規就農者を確保するとともに、若手生産者に対する研修会・学修会を通じて人材の育成を図る。